

救急編



令和7年度救急シミュレーション訓練の様子

1. 救急行政の現状

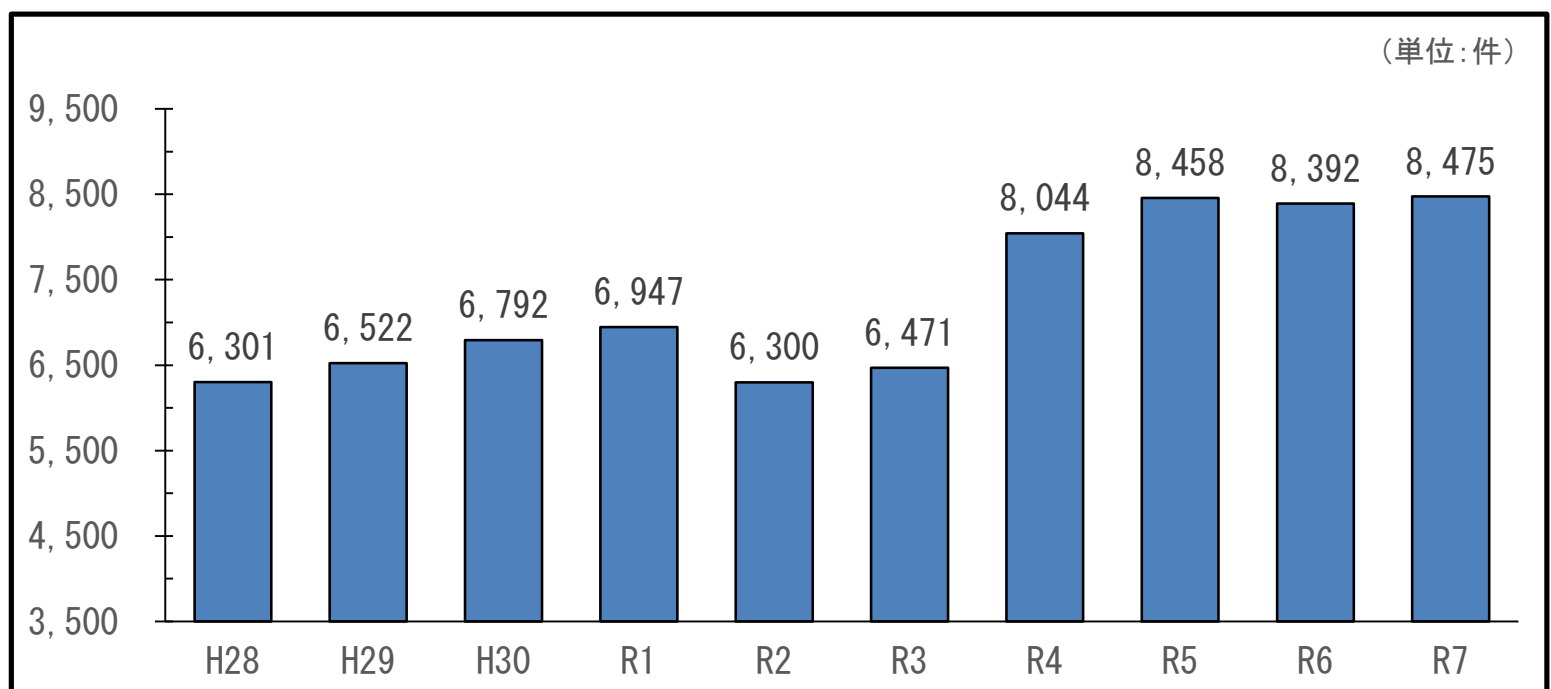
(1) 令和7年中の出場件数は、8,475件【1日平均23件】、搬送人員は7,088人【1日平均19人】です。前年と比較しますと出場件数は83件増加し、搬送人員については61人の増加となりました。平成22年から増加傾向であった救急需要は、令和2年に減少に転じましたが、新型コロナウイルス感染症の発生のほか、各種感染症の増加等により、令和5年、令和6年に続き搬送人員が増加となりました。

(2) 心停止の社会復帰率向上のため、救急隊員が現場に到着するまでの間、その場に居合わせた人が応急手当を正しく行えるように「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要領」を定め、応急手当普及啓発活動を積極的に実施しています。また、平成29年7月より、24時間営業しているコンビニエンスストア全61店舗にAEDを設置し、誰でも緊急時にAEDが適切に使用できる環境を整備しました。

2. 救急出場状況

(1) 出場件数

年\種別	出場件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
令和 4年	8,044	32	0	14	518	111	82	1,091	36	90	5,480	590
令和 5年	8,458	26	0	11	526	93	78	1,210	34	76	5,788	616
令和 6年	8,392	37	0	7	500	102	86	1,121	44	74	5,716	705
令和7年1月	767	4		4	45	4	1	108	4	7	528	62
2月	622	4		1	34	9	7	96	5	4	402	60
3月	707	3		2	43	10	2	98	1	6	487	55
4月	652	3		1	53	10	7	95	1	3	407	72
5月	673			2	49	9	6	103	3	8	442	51
6月	677	2			26	8	13	77	2	10	473	66
7月	764	6		1	36	11	10	113	9	7	511	60
8月	778	2		1	49	20	7	106	4	6	519	64
9月	682	1			39	13	6	101	4	12	450	56
10月	708	1		1	49	14	5	100	1	10	473	54
11月	709	1		3	45	11	7	118	4	9	445	66
12月	736	1		1	40	4	2	120	7	4	484	73
合計	8,475	28	0	17	508	123	73	1,235	45	86	5,621	739



過去10年間の救急出場件数の推移

(2) 搬送人員

年\種別	搬送人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
令和 4年	6,519	1	0	5	413	108	77	907	21	52	4,353	582
令和 5年	6,890	0	0	0	407	91	73	998	21	45	4,646	609
令和 6年	7,027	4	0	1	404	97	84	938	26	48	4,731	694
令和7年1月	615	2			30	3		90	2	4	423	61
2月	505			1	20	8	7	84	1	3	321	60
3月	591				40	9	2	88	1	3	394	54
4月	553				47	10	6	85	1	3	329	72
5月	568			1	43	8	5	90	1	7	364	49
6月	570				23	7	12	67	2	4	389	66
7月	633				24	10	10	96	4	5	424	60
8月	643	1			44	20	7	87	5	2	413	64
9月	589				36	12	6	87	1	9	382	56
10月	588				36	12	5	86	1	9	385	54
11月	610				35	10	7	99	1	5	389	64
12月	623				32	4	2	97	3	4	410	71
合計	7,088	3	0	2	410	113	69	1,056	23	58	4,623	731

(3) 年齢区分別搬送人員

令和7年中

	搬送人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児	25										8	17
乳幼児	475				9			94	1		340	31
少年	318			1	35		29	71		8	162	12
成人	2,552	3		1	250	88	39	217	16	38	1,657	243
高齢者	3,718				116	25	1	674	6	12	2,456	428
合計	7,088	3	0	2	410	113	69	1,056	23	58	4,623	731

(4) 不搬送件数

令和7年中

	出場件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
辞退(到着前)	14				2			1			11	
辞退(到着後)	990	1		2	81	7	4	155	12	12	715	1
拒否	149			2	19	1		21	7	3	96	
明らかな死亡	103	1		5		1				8	88	
他車(隊)搬送	10				2	1					2	5
傷病者無し	67	17		4	5			3	1	4	32	1
誤報 いたずら	75	5		2	3			3	2		59	1
その他	7	1			1				1	1	3	
合計	1,415	25	0	15	113	10	4	183	23	28	1,006	8

(5) 他市救急応援出場件数

令和7年中

	出場件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
東京都	10			4	5					1		
さいたま市	7				5						2	
蕨市	48				4		2	8			29	5
川口市	1										1	
和光市	4			1	2					1		
合計	70	0	0	5	16	0	2	8	0	2	32	5

(6) 出場地域と程度別搬送人員 令和7年中

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
東部管内	12	297	1,309	1,694		3,312
本署管内	12	192	1,010	1,167		2,381
西部管内	9	117	586	629		1,341
市外	3	4	20	27		54
合計	36	610	2,925	3,517	0	7,088

(7) 年齢区分と程度別搬送人員 令和7年中

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
新生児			22	3		25
乳幼児	1	4	100	370		475
少年		3	60	255		318
成人	9	179	846	1,518		2,552
高齢	26	424	1,897	1,371		3,718
合計	36	610	2,925	3,517	0	7,088

(8) 病院地域別搬送人員

令和7年中

	程 度					合 計	
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	搬送人員	割合
戸田市内病院	25	301	1,889	2,566		4,781	67.45%
蕨市内病院		13	28	48		89	1.26%
川口市内病院	9	150	326	349		834	11.77%
さいたま市内病院	2	46	209	100		357	5.04%
上記以外の 埼玉県内病院		37	137	165		339	4.78%
東京都内の病院		62	335	287		684	9.65%
県内・東京都 以外の病院		1	1	2		4	0.06%
合計	36	610	2,925	3,517	0	7,088	

(9) 診療科目搬送人員

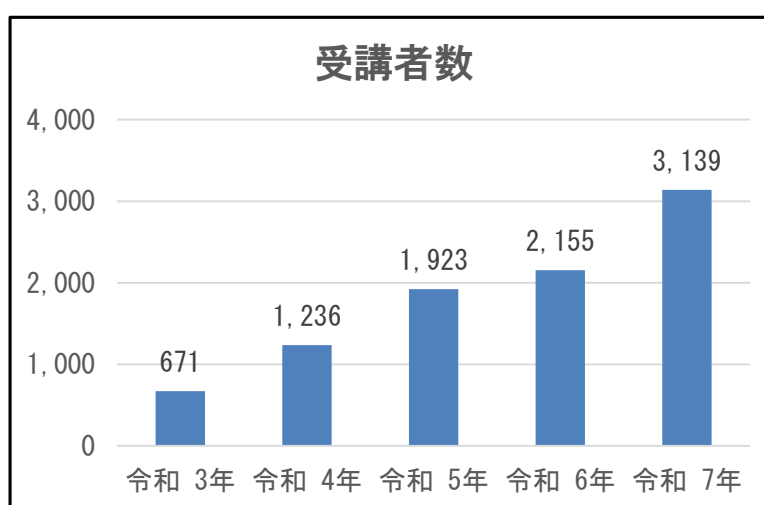
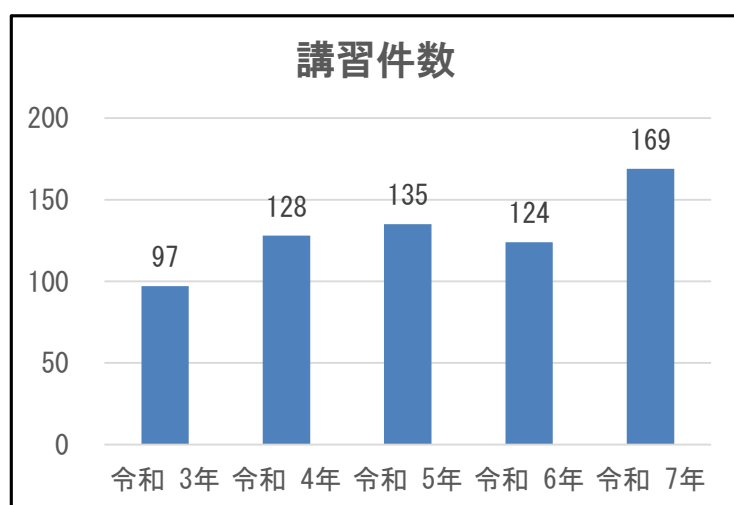
令和7年中

	外科	整形外科	脳外科	内科	小児科	精神科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	救命	その他	合計
人員	666	815	758	3,878	571	5	81	8	36	59	163	48	7,088
割合	9.40%	11.50%	10.69%	54.71%	8.06%	0.07%	1.14%	0.11%	0.51%	0.83%	2.30%	0.68%	

3. 救命講習実施状況

(1) 各救命講習件数及び受講者数

	普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		救命入門コース		普及員講習		小児救急講習		その他の講習		合計	
	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数	講習件数	受講者数
令和 3年	16	37	1	1	10	32	4	5			6	32	21	139	39	425	97	671
令和 4年	38	58	2	2	19	70	4	12	20	248	13	76	5	65	27	705	128	1,236
令和 5年	44	376	3	16	17	79	5	16	23	326	2	14	0	0	41	1,096	135	1,923
令和 6年	32	388	1	1	8	57	7	42	19	281	2	9	0	0	55	1,377	124	2,155
令和 7年	42	457	4	9	14	88	6	25	29	282	1	5	0	0	73	2,273	169	3,139



令和7年中の救命講習は、前年と比べると講習件数及び受講者数は増加しており、新型コロナウイルス感染症が発生し、開催件数、1回の受講者数を減らすなど、受講制限を設けていたところに比べると講習件数、受講者数ともに新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあります。



傷病者の命を救い、社会復帰へ導くために必要となる一連の行動を「救命の連鎖」といいます。救命の連鎖は、①心停止の予防、②心停止の早期認識と通報、③一次救命処置、④二次救命処置と心拍再開後の集中治療の4つの輪で成り立っており、この4つの輪が途切れることなく、すばやくつながることで救命効果が高まります。中でも①心停止の予防、②心停止の早期認識と通報、③一次救命処置は、傷病者を目の前にしている人にしかできません。もしもの時に備えて、救命講習を受講しておきましょう。